



2027年3月期 第2四半期（中間期）

決算説明資料（ハイライト情報）

CHORI

決算概要のポイント

POINT

- 2027年3月期第2四半期（中間期）の営業利益（セグメント利益）は通期業績予想に対し、50.2%の進捗率にて堅調に推移。
- 中東情勢の緊迫化に伴う化学品事業における需要の取り込みに加え、繊維事業における土木関連を中心とした資材事業が業績を牽引し、前年同期比増収増益。

	(単位：億円)	26/3期 2Q	27/3期 2Q	増減額	増減率	主な増減要因
売上高		1,450	1,565	+116	+8.0%	中東情勢の緊迫化に伴う需要の取り込み、土木関連の取扱い拡大、円安の影響による増収。
売上総利益		203	218	+15	+7.5%	益率は前年並みを維持（14.0%→13.9%）。
販売費及び一般管理費		137	145	+8	+6.2%	人的資本への継続的な投資に伴うコスト増加。
営業利益		66	73	+7	+10.1%	増収効果により販管費増加を吸収し、増益。
経常利益		68	79	+11	+15.5%	為替差損益の改善に加え、持分法による投資利益が増加。
税金等調整前中間純利益		69	79	+10	+15.0%	—
親会社株主に帰属する中間純利益		51	56	+5	+10.4%	税金費用は増加（+5億円）も増益。

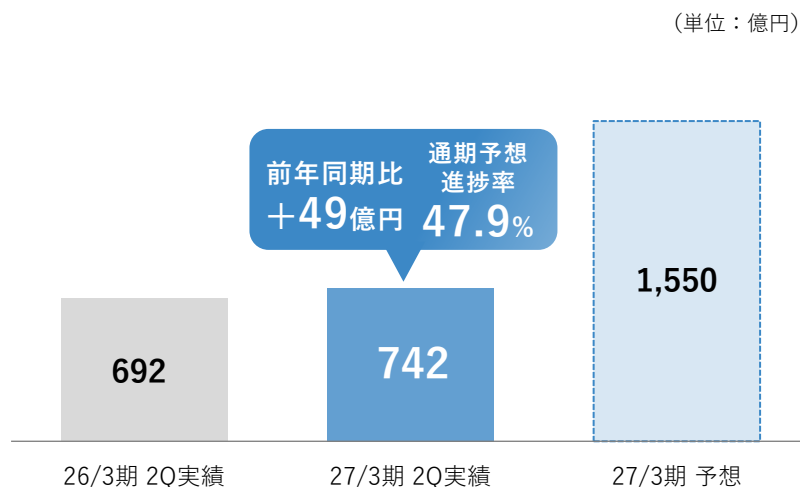
セグメント業績 ①

繊維事業

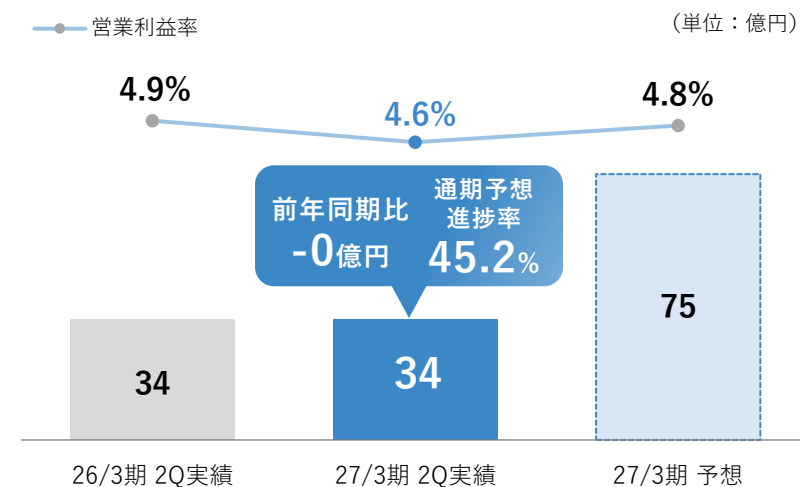
POINT

- 前年同期比増収減益。
- 繊維原料及び土木関連等の資材の販売が増収に寄与。
- テキスタイルの中東向け販売停滞・物流コスト上昇や、製品事業における仕入コスト上昇による採算悪化により、前年同期比減益。

売上高



営業利益、営業利益率



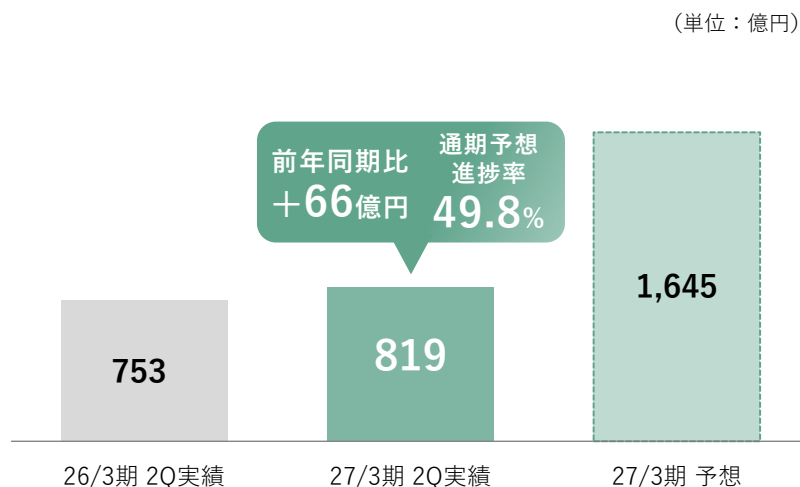
セグメント業績 ②

化学品事業

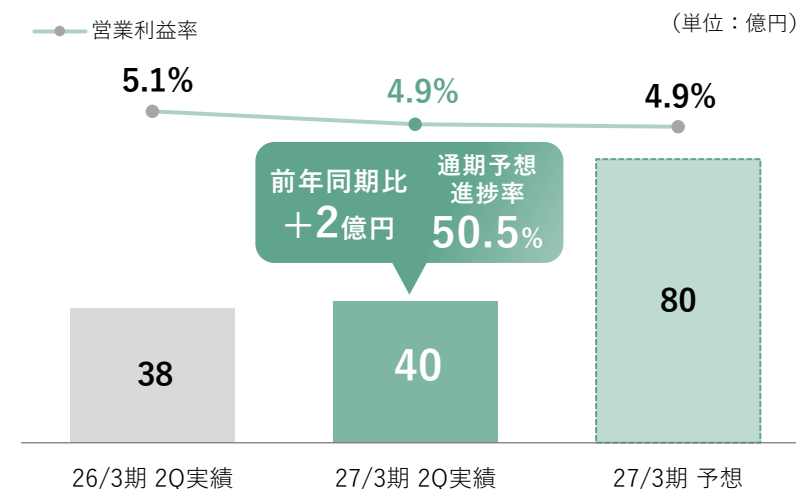
POINT

- 前年同期比増収増益。
- 中東情勢の緊迫化に伴う供給不安を背景とした需要を取り込む。
- 高機能マテリアル事業における化粧品関連商材を中心とする機能性原料の販売が堅調に推移。

売上高



営業利益、営業利益率



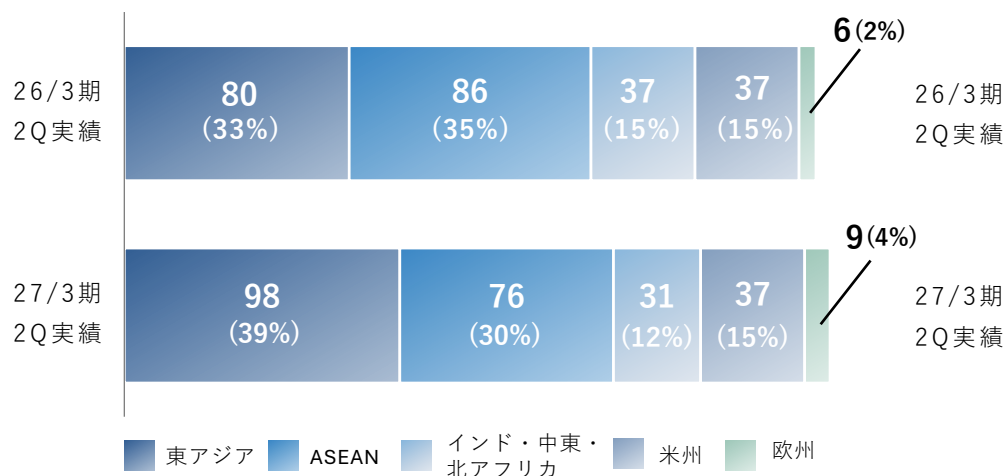
地域別売上高

(単位：億円)	国内			海外			合計		
	26/3期 2Q	27/3期 2Q	増減額	26/3期 2Q	27/3期 2Q	増減額	26/3期 2Q	27/3期 2Q	増減額
繊維	447	491	+44	245	251	+5	692	742	+49
化学品	482	527	+45	271	292	+21	753	819	+66
その他※	0	0	-0	4	4	+0	4	4	+0
合計	929	1,018	+89	520	547	+27	1,450	1,565	+116
比率（％）	64%	65%	+1pt	36%	35%	-1pt	—	—	—

※「その他」には調整額を含んでおります。

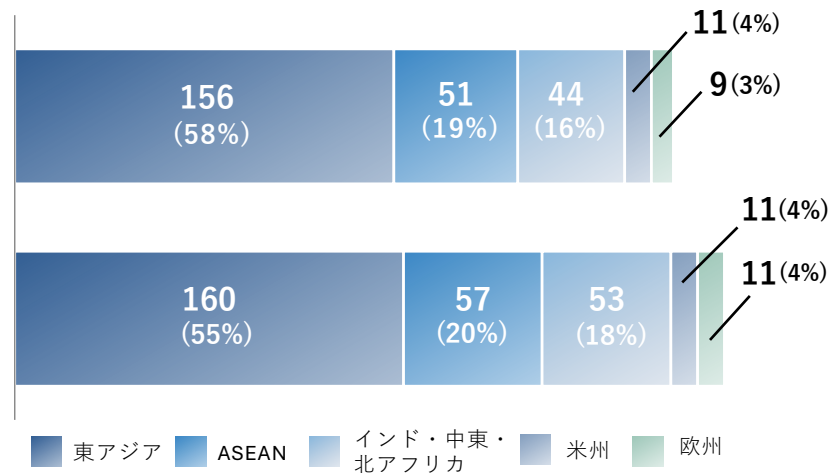
（繊維）海外売上高 地域別内訳

(単位：億円)



（化学品）海外売上高 地域別内訳

(単位：億円)



財政状態

POINT

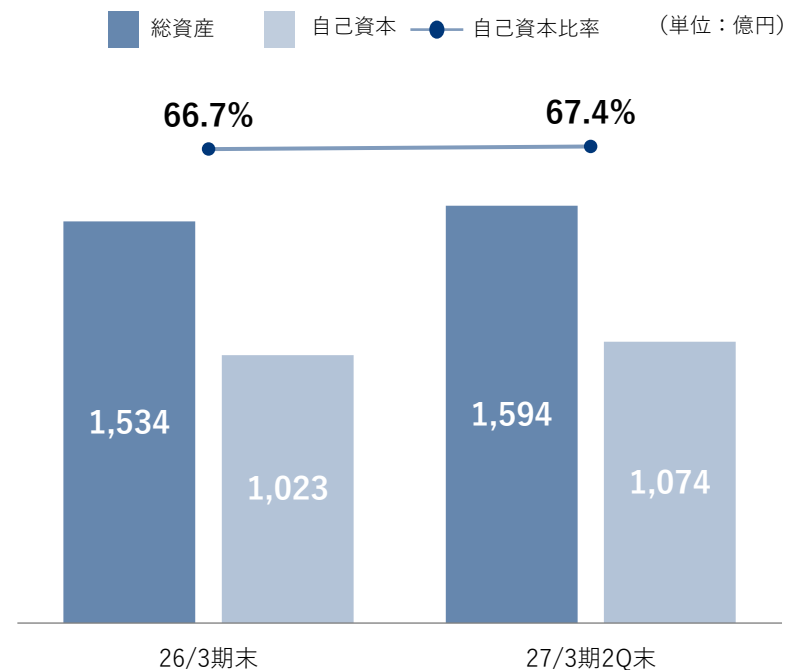
- 利益の積み上げ等により、自己資本は前期末比+51億円の増加。
- ROE、ROICは前期末比悪化も計画の範囲内。引き続き資本効率を意識した経営を推進。

（単位：億円）	26/3期末	27/3期 2Q末	増減
総資産	1,534	1,594	+60
自己資本	1,023	1,074	+51
自己資本比率	66.7%	67.4%	+0.7pt
ROE ^{※1}	12.4%	10.8% ^{※3}	-1.6pt
ROIC ^{※2}	11.1%	9.6% ^{※3}	-1.5pt

※1 親会社株主に帰属する当期純利益ベース

※2 ROIC=税引後営業利益÷投下資本（自己資本+有利子負債）期中平均

※3 年間ベース



キャッシュ・フローの状況

POINT

- Net現預金は前期末比+32億円増加。更なる成長に向けた事業投資を検討・推進。

営業活動：52億円の収入（税金等調整前中間純利益+79億円、棚卸資産の増加-27億円）

投資活動：7億円の支出（無形固定資産取得-4億円）

財務活動：20億円の支出（配当金の支払-19億円）

（+：キャッシュイン、－：キャッシュアウト）

	(単位：億円)	26/3期 2Q	27/3期 2Q	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー		59	52	-7
投資活動によるキャッシュ・フロー		-4	-7	-3
財務活動によるキャッシュ・フロー		-23	-20	+3
換算差額		-8	6	+14
キャッシュ・フロー合計		24	30	+6
現金及び現金同等物の中間期末残高		256	312	+56

	26/3期末	27/3期 2Q末	増減
Net現預金	291	323	+32

2027年3月期 業績予想

POINT

- CIP2028 の基本方針「専門性×グローバル×事業投資」を推進。
- 通期業績予想に対し、売上高・営業利益ともに順調な進捗。

	(単位：億円)	27/3期 2Q実績	27/3期 予想	27/3期 進捗率	26/3期 実績
売上高		1,565	3,200	48.9%	2,993
繊維		742	1,550	47.9%	1,458
化学品		819	1,645	49.8%	1,527
その他※		4	5	—	9
営業利益又は損失 営業利益率		73 4.6%	145 4.5%	50.2% —	131 4.4%
繊維		34	75	45.2%	72
化学品		40	80	50.5%	75
その他※		-2	-10	—	-16
親会社株主に帰属する 当期（中間）純利益		56	105	53.8%	120

※「その他」には調整額を含んでおります。

2027年3月期 配当金

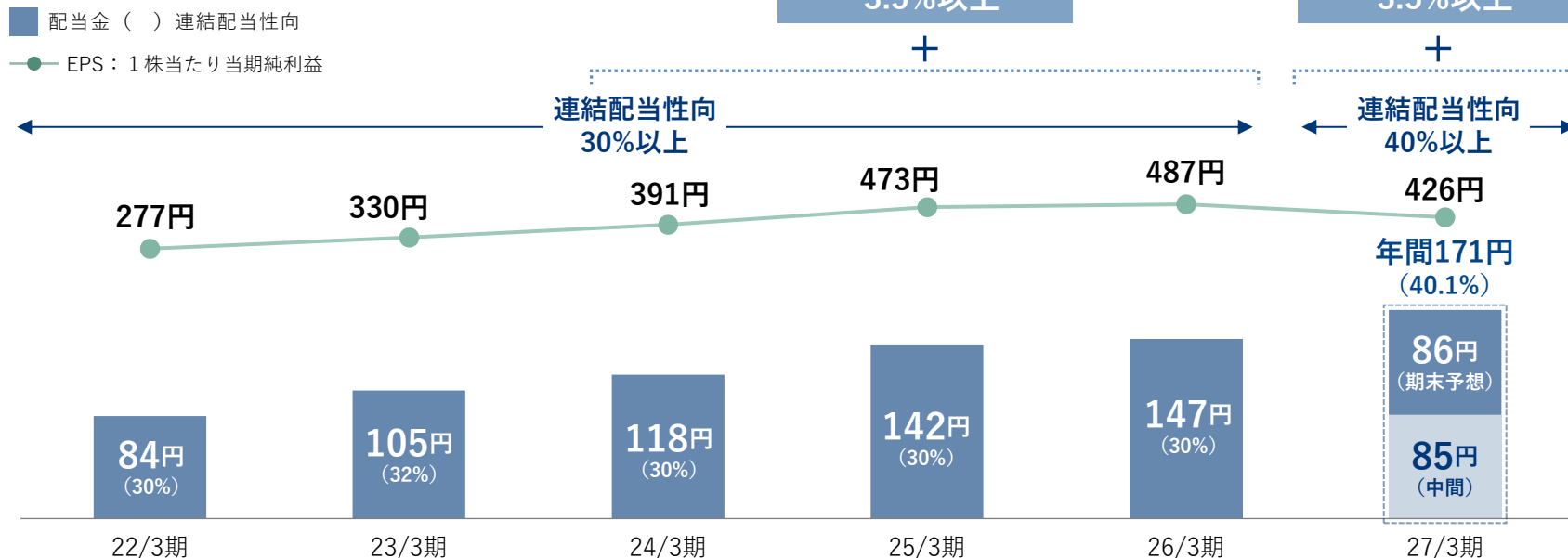
配当の基本方針

2027年3月期 年間配当予想

- 継続的・安定的な利益還元と経営・財務の安定性確保の観点から、親会社株主に帰属する当期純利益の水準に応じた業績連動型配当を実施。
- 配当方針：連結配当性向40%以上かつ純資産配当率（DOE）3.5%以上。

通期業績見通し及び上記配当方針に基づき、中間配当85円を実施。
年間配当金 **171円**（期末配当86円）の見通し。

1株当たり配当金推移（年間）





CHORI あなたの夢に挑戦します。

※本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。
※本資料において当社の将来の内容・業績を保証するものではありません。

蝶理株式会社